



どうぞよろしく

畳の部屋で



チエコ・ジョーンズ
Chieko Jones

シドニー・ジャパニーズ・
スクール
(オーストラリア、ニューサ
ウスウェールズ州)

授業のねらい

畳の部屋で起こるさまざまな場面のロールプレイを通じて、いろいろな日本語表現を学ぶと同時に、日本の住居、畳の部屋とその使い方、役割、構造、歴史などを学ぶ。日本人の家に招かれた時に、きちんと対応できるようになる。

学習項目

言語面

機能	表現	語彙
<ul style="list-style-type: none"> ❖ 何であるかを質問する / 答える ❖ 用途について質問する ❖ 感想を述べる 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ ~は何ですか、~ですね ❖ ~ですよ、~は~です ❖ ~たり~たり、~くて、~でしょう 	<ul style="list-style-type: none"> ❖ におい、何畳、畳、広い、部屋、気持ち、こたつ、座布団、押し入れ、ふとん、まくら、ねまき、お茶、おかし

文化面

自分の家を持ちたいという願望はみんなに共通するものであることを知る
 日本の家屋は西洋の家屋と多くの類似点があることを知る
 日本の家屋と自分たちの家屋との相違点を調べ、その背景にあるものを学ぶ
 日本の家屋はすべて非常にせまい、という誤解を取り除く
 日本の日常生活と畳の部屋の使い方を調べ、理解する

レッスンプラン

用意するもの

畳の部屋のイラスト(資料1*)
ワークシート(資料2*)
ロールプレイシート(資料3*)
畳の部屋、障子、布団、座布団

授業の進め方

準備

1. 学習する語彙を授業開始前に黒板に書いておく。
2. 学校にない場合は、畳の代わりに大きなビーチマットを、障子の代わりに中国式つい立てを、こたつの代わりに旅行用ひざ掛けをかけた小さな低いテーブルを、布団の代わりにキルトのベッドカバーを、座布団の代わりに大きめの四角いクッションなどを使うといい。また、ハンドアウトに描かれたイラストを見せて生徒たちに想像させてもいいだろう。

1. 導入(5分)

日本に住んだことがあるかどうかを質問してから、日本の家屋についてどう考えているかを述べさせる。

2. 「わら」について(15分)

教師はわらと、その用途について説明する(次頁参照)。

3. 資料1、2(10分)

1. 資料を配布し、生徒に資料をよく見るように指示し、イラストに描かれているものの名称をできるだけ多く挙げさせる。そうして、イラストに描かれているもの(床の間、ふすま、障子など)の説明をする。和室にはペイントをあまり使わず、装飾も最小限に抑えている。和紙を張った引き戸、すなわち障子は畳の部屋に差し込む光をやわらかく放散させ、同時にある程度プライバシーを守る機能をもっている。飾るのは主に床の間であり、その脇には違い棚があり、簡素だが上品な飾り物を置く。床の間には書画の掛け軸をかけ、その下に陶磁器、盆石、生け花、木彫りなどを置く場合もある。「押し入れ」には、布団、座布団などが入っている。押し入れは襖とよばれる不透明の引き戸がついていて、中に入っているものを隠している。

2. 資料2に描かれている畳の部屋のイラストのなかから一つないしは二つを選んで生徒たちに部屋の

広さの計算方法を説明する。部屋の広さは、畳の数で表すことを教える。たとえば、資料2の(G)のような10畳の部屋であれば、たて4メートル、よこ5メートルだから、部屋の広さは20平方メートルとなる。ロールプレイ(資料3)の場面1では10畳の部屋にジョンがいる。あらかじめ広さを計算しておくことで生徒たちはなぜジョンが広いと言って驚いているのか、よく理解できる。しかし、この家は大都市から遠く離れた田舎にあることを忘れてはならない。大都市では土地の値段が高いため、こういう家はあまり見かけない。

4. ロールプレイ(10分)

1. ロールプレイの場面1(資料3)は、畳の部屋にあるさまざまなものを確かめるためのやりとりである。ロールプレイの場面2は、友だち同士のやりとりにしてもいい。これらのロールプレイのなかから一つ選んで、全員にスクリプトのコピーを渡す。
2. 全員にスクリプトを読ませる。次に、生徒を指名し、演じさせる。

5. 書く練習(10分)

新しい単語の書きとり練習をさせる。宿題として、授業では計算しなかった畳の部屋の広さの計算をしてくるように指示する(資料2)。

6. 評価

- ◆ ロールプレイ
- ◆ 畳の部屋の広さの計算をさせたり、「わら」についての作文を書かせたり、畳の部屋のイラストを描かせて部屋に置かれているものの名称を書かせたりしてもいい。

選考委員会から

屋内の敷物に関して、日豪の比較にとどまらず、世界各地の事情に触れている点が優れています。畳の紹介の前に、生徒の自宅の敷物や仕様について簡単に話をさせ、同じ国、同じ地域でも多種多様であること、またその違いは個人が有するさまざまな価値観の反映であることに気づかせるようにするとよりいいでしょう。

「わら」について

生徒に興味をおこさせるように次のような導入を行う。黒板に「わら」と書いたあと、生徒に「わらとはどんなものが説明できる人はいますか」「わら」という単語には、小麦、大麦、稲などの茎のほか、アシやイグサも指す。「わらの用途はなんですか」などと質問する。下のものは生徒の答えをまとめたもので、()内は補足説明である。

- ❖ 馬や畜牛の飼料(切りわら、干し草)
- ❖ カゴ、袋、箱の材料(いくつかの実例を用意するとい)
- ❖ 帽子の材料(庭いじりの時に使う麦わら帽子が好例)
- ❖ マットの材料(巻きマットだけでなく、入り口に敷く素朴な「ウエルカム・マット」もある)
- ❖ 雪ぐつ、サンダル、スリッパの材料(東京・浅草の雷門にある巨大なわらぞうりが好例)
- ❖ スカートやレインコートの材料(たとえばパプアニューギニアやハワイなどで見かける腰から垂らす「わら」製のスカート。日本で昔、使われていた「みの」と呼ばれる雨具)
- ❖ 紙や入れ物の材料(たとえば、ライスペーパー、ストローボードなど。ペーパーという語は、昔エジプト人が紙として用いた植物パピルスがその名称の起源。彼らは船の材料としてもパピルスを用いた)
- ❖ ロープの材料(飾りに使われるロープの好例は、特に正月を迎えた日本の神社で見られる。写真があるとい)
- ❖ 巻き上げ式ブラインドやカーテンの材料
- ❖ ものを包んだり荷造りするための用具(創意工夫に富んだ実例が日本にあるかもしれない)
- ❖ 掃いたり磨いたりするためのほうきやブラシの材料
- ❖ おもちゃの材料(日本の「わら」で作った玩具の馬)
- ❖ フェンスや家屋の壁や屋根に使われる(わらぶき、かやぶき屋根などの写真があるとい)

さらに次のような話をすると生徒の興味をひくことができるだろう。

三匹の子ぶたと悪いオオカミのお話を覚えていますか。子ぶたたちは家を作るのに何を使ったでしょう。一匹はわら、もう一匹は小枝、三匹めはレンガ

を使いました。このレンガにはたぶん、わらが含まれていたでしょう。というのも、わらを加えた粘土のほうが丈夫なレンガが作れるからです。

昔は世界中で屋根の材料として、わらが使われていました。屋根づくりに使われるわらを(英語で)何と呼んでいますか(答えは「thatch」)。わらをぎっしりと葺いているので雨や雪は通しません。イギリスやヨーロッパ大陸には今なお草ぶき屋根の家があります(高学年の生徒には、シェークスピア時代の建築物であるアン・ハサウェイの住居について話すといい)。美しいかやぶきなどの屋根は日本の寺院、神社、茶室や田舎の古い家などに見られます。

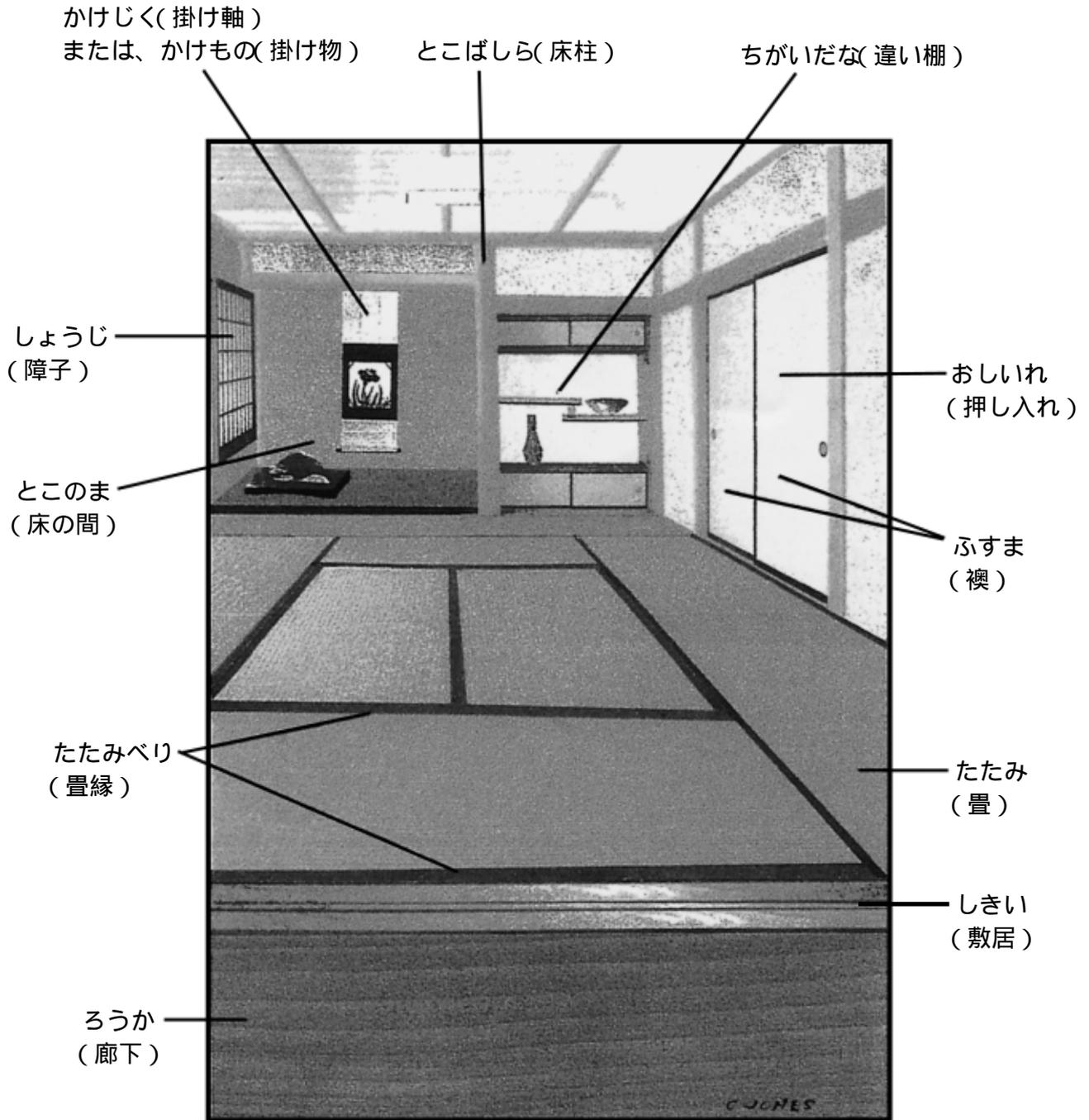
わらはいへん役に立ちます。自宅にストロー・マットがある人はいますか。どこで使っていますか。家で、浜辺で、ピクニックで。くるくると巻けば自家用車に手軽につめこんで運べ、ピクニック先で腰をおろすことができますね。

昔の日本、自動車がまだ発明されるずっと前ですが、ストロー・マットをくるくる巻いたり、たたんだりして手軽に持ち運んでいました。このマットを何と呼んでいたか知っていますか。たたみと呼んでいました。この名前は「たたむ」という言葉からきています(教師が黒板に「たたみ」と書く。漢字の「畳」はたたみを並べた状態に似ているので、この漢字もいっしょに紹介すると一段と面白さが増すかもしれません)。

その後、だれかが稲のわらを5~6センチの厚さにしめ固めた床にそのマットを張りつけると、その上で快適に座ったり、食事をしたり、眠ったりできるということを発見しました。今のサイズは、だいたいたて1メートル、よこ2メートルで、私たちのシングル・ベッドの大きさぐらいです。

昔のようにたたみはできませんが、今でもたたみと呼ばれています。たたみは和室のフロア全体にわたって一定のパターンで並べられています。現代日本の家屋は、じゅうたんを敷いたり、磨き上げた木のフロアにしたり、西洋化がかなり進んでいます。しかし、ほとんどの場合、少なくとも一部屋は伝統的な畳敷きの和室にしています。一般的に、畳は依然として稲わらをしめ固めた床にイグサで編んだ表を張ってあり、各部屋の広さは、畳を敷いていない場合でも、その部屋に畳が何枚敷けるかで表されます。

畳の部屋



じょう ま へ や
十畳の間 または 十畳の部屋

イラスト：チエコ・ジョーンズ

ワークシート

名前 _____

- 1.(A)でしめた長さ(たて1メートル、よこ2メートル)を使って(B)~(G)のたてとよこの長さを計算してください。
- 2.(A)~(G)は、それぞれ何平方メートルあるか計算してください。

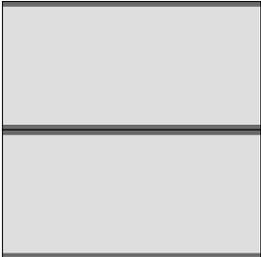
(A)一畳



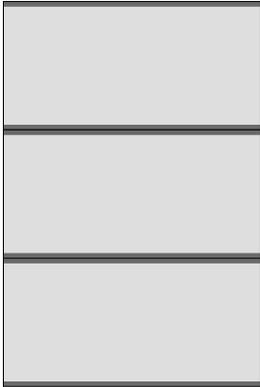
1メートル

2メートル

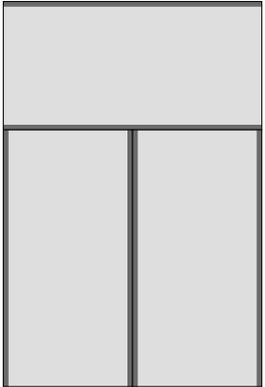
(B)二畳



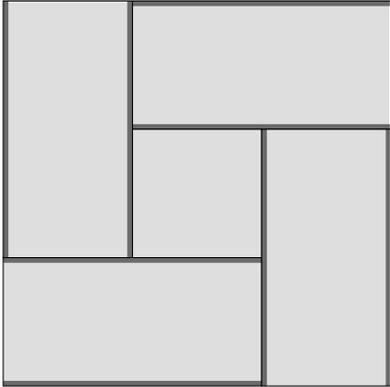
(C)三畳



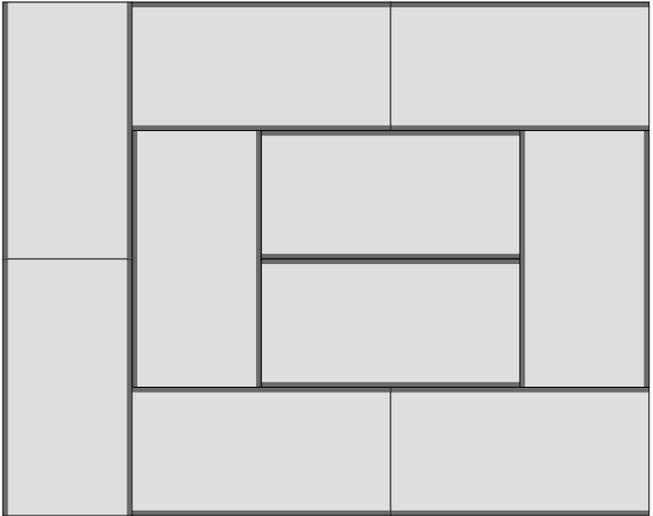
(D)三畳



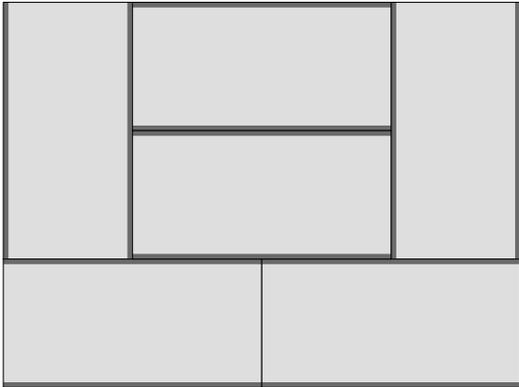
(E)四畳半



(G)十畳



(F)六畳



(注)ここでは、計算しやすいように畳の大きさをたて1メートル、よこ2メートルとした。畳の大きさは地域によって異なる。たとえば、関東地方では1.76メートル×0.88メートル、関西地方では1.91メートル×0.95メートルとされている。また、畳の並べ方はいろいろある。

ロールプレイシート

場面1

高校で日本語を勉強しているジョンがホームステイのために日本をおとずれ、ホスト・ファミリーの宮本夫人といっしょに空港から宮本家に着いた。田舎にある宮本さんの大きな家の和室に2人はたった今入ってきたところだ。ジョンにとって日本滞在ははじめてのことだが、畳の部屋に入る前にスリッパをきちんとぬいだ。それは日本へ出発する前に学習したことのひとつだったのだ。前に聞いていた話とはちがって、この家の部屋が広いのでとてもおどろいた。

- ジョン：いいにおいですね。新しいたたみですか。
- 宮本：はい、新しいたたみはほんとうにいいにおいですね。
- ジョン：広い部屋ですね。何じょうですか。
- 宮本：10じょうです。
- ジョン：あれはとこのまでですか。
- 宮本：はい、そうです。よく知っていますね。
- ジョン：日本語の授業でならいました。
- 宮本：日本語もじょうずですね。
- ジョン：いいえ、まだへたです。どうぞ日本のことをいろいろ教えてください。
- 宮本：はい、わかりました。

場面2

田中さんが友だちの山田さんの家をおとずれ、畳の部屋にとおされました。コーヒーがいいか、それともお茶がいいかと聞かれて、田中さんはお茶をもらいます。お茶のおかわりをすすめられたら、おかわりをもらいますが、お菓子をすすめられたら丁寧なことわかります。どうやってことわればいいでしょうか。

- 山田：(お)ざぶとんをどうぞ。<ざぶとんをさし出す>
- 田中：しつれいします。<ざぶとんにすわる>
- 山田：お茶とコーヒー、どちらがよろしいですか。
- 田中：お茶をおねがいします。
- 山田：すぐもってまいります。
<お茶を運んでくる>
- 山田：どうぞ。
- 田中：いただきます。<すする>おいしいお茶ですね。
- 山田：もういっぱいいかがですか。
- 田中：はい、いただきます。
- 山田：おかしをもうひとついかがですか。
- 田中：いいえ、もうけっこうです。ごちそうさま(でした)。